

2015年理(数理情報科)第2問

1枚目/2枚

2 実数 a, b に対して, $f(x) = x^2 + ax + b$ とする. 次の問いに答えよ.

(1) $-1 \leq x \leq 1$ における $f(x)$ の最大値を M , 最小値を m とする.

(a) M, m をそれぞれ以下の場合に分けて a, b を用いて表せ.

(i) $a \leq -2$

(ii) $-2 < a < 2$

(iii) $2 \leq a$

(b) $M - m$ が最小となるような a の値を求め, さらにそのときの $M - m$ の値を求めよ.

(2) $-1 \leq x \leq 1$ における $|f(x)|$ の最大値が最小となるような a, b の値を求め, さらにそのときの $|f(x)|$ の最大値を求めよ.

(1) $f(x) = (x + \frac{a}{2})^2 - \frac{a^2}{4} + b$

(a) (i) $a \leq -2$ のとき.

右図より, $M = f(-1) = 1 - a + b, m = f(1) = 1 + a + b$

$\therefore M - m = -2a$

(ii) $-2 < a < 2$ のとき.

右図より, $-2 < a < 0$ のとき $M = f(-1) = 1 - a + b$

$0 \leq a < 2$ のとき $M = f(1) = 1 + a + b$

あわせて, $M = 1 + |a| + b$

$m = -\frac{a^2}{4} + b$

$\therefore M - m = \frac{a^2}{4} + |a| + 1$

(iii) $2 \leq a$ のとき.

右図より, $M = f(1) = 1 + a + b, m = f(-1) = 1 - a + b$

$\therefore M - m = 2a$

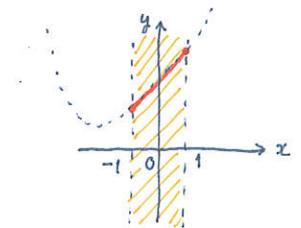
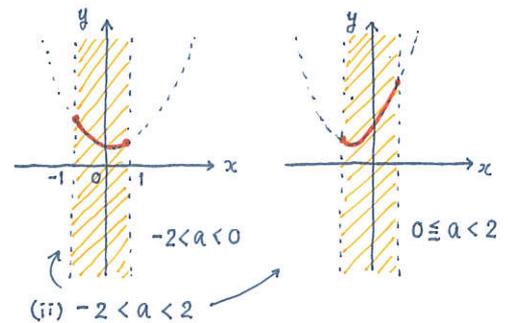
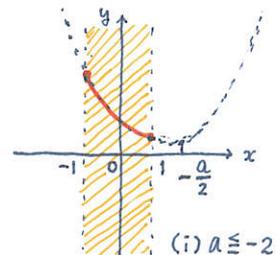
(b) (i) のとき, $M - m$ の最小値は 4 ($a = -2$ のとき)

(iii) のとき $M - m$ の最小値は 4 ($a = 2$ のとき).

$-2 < a < 0$ のとき, $M - m = \frac{a^2}{4} - a + 1 = \frac{1}{4}(a - 2)^2$ \therefore 最小値はなし

$0 < a < 2$ のとき, $M - m = \frac{a^2}{4} + a + 1 = \frac{1}{4}(a + 2)^2$ \therefore 最小値は 1 ($a = 0$ のとき)

以上より, $M - m$ の最小値は 1 ($a = 0$ のとき)



2015年理(数理情報科)第2問

2枚目/2枚



2 実数 a, b に対して, $f(x) = x^2 + ax + b$ とする. 次の問いに答えよ.

(1) $-1 \leq x \leq 1$ における $f(x)$ の最大値を M , 最小値を m とする.

(a) M, m をそれぞれ以下の場合に分けて, a, b を用いて表せ.

(i) $a \leq -2$

(ii) $-2 < a < 2$

(iii) $2 \leq a$

(b) $M - m$ が最小となるような a の値を求め, さらにそのときの $M - m$ の値を求めよ.

(2) $-1 \leq x \leq 1$ における $|f(x)|$ の最大値が最小となるような a, b の値を求め, さらにそのときの $|f(x)|$ の最大値を求めよ.

(2) $|f(x)|$ の最大値は $|M|$ と $|m|$ の小さくない方になる.

(1)(b) より $M - m \geq 1$ なので, $|M| \geq \frac{1}{2}$ または $|m| \geq \frac{1}{2}$

($\because |M| < \frac{1}{2}$ かつ $|m| < \frac{1}{2}$ と仮定すると,
 $M - m \leq |M| + |m| < 1$ となり $M - m \geq 1$ に矛盾する)

よって, $|f(x)| \geq \frac{1}{2}$

等号成立は, $M - m = 1 \therefore (1)(b)$ より, $a = 0$

このとき, $M = \frac{1}{2}, m = -\frac{1}{2}$ であるから,

$M = 1 + b = \frac{1}{2}, m = b = -\frac{1}{2}$

$\therefore b = -\frac{1}{2}$

以上より, $a = 0, b = -\frac{1}{2}$ のとき, $|f(x)|$ の最大値は最小となり, その値は $\frac{1}{2}$ //